

# 都心道路の空間再配分を進めます

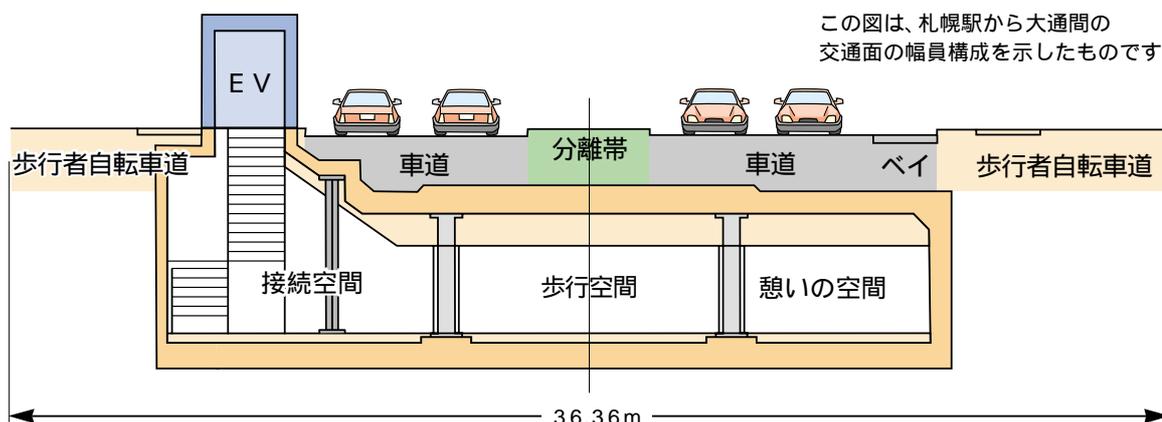
札幌の都心を特徴付けているのは、格子状の整然とした街路構成であり、中でも、メインストリートとしての札幌駅前通、まちづくりの基軸である大通と創成川通、道庁赤レンガから東に延び歴史的建物が点在する北3条通は、際立った特長を持つ通りといえます。これらは同時に、現在の道都札幌の経済活動を支える幹線道路としての役割も大きく担っています。

このため、特に都心のまちづくり計画の骨格軸であるこれら4軸については、都心の活性化に寄与する交通施策を推進するという観点から、都心部のみならず、その周辺開発等の将来性を踏まえた空間構成が求められます。

1.

## 札幌駅前通

歩行空間は、地上地下を重層的に位置付ける  
車両空間は、4車線(片側2車線)とし、停車スペース(タクシーベイ、荷さばきベイなど)を設置する  
歩行者と自転車利用を分離する  
冬期間のための堆雪スペースを確保する



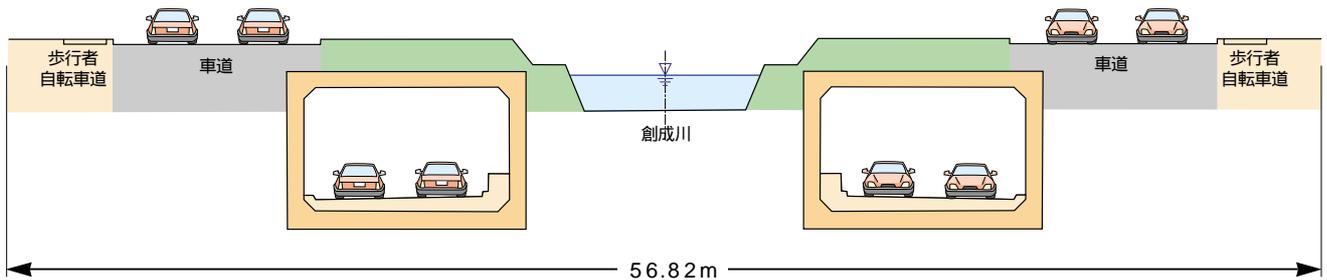
2.

## 創成川通

歩行空間は、親水緑地空間との回遊性を確保する  
 車両空間は、地上部、地下部共に4車線(片側2車線)とする  
 東西方向の交通円滑化のため、道路機能の強化を図る  
 歩行者と自転車利用を分離する  
 冬期間のための堆雪スペースを確保する



この図は交通面の幅員構成を示したものです



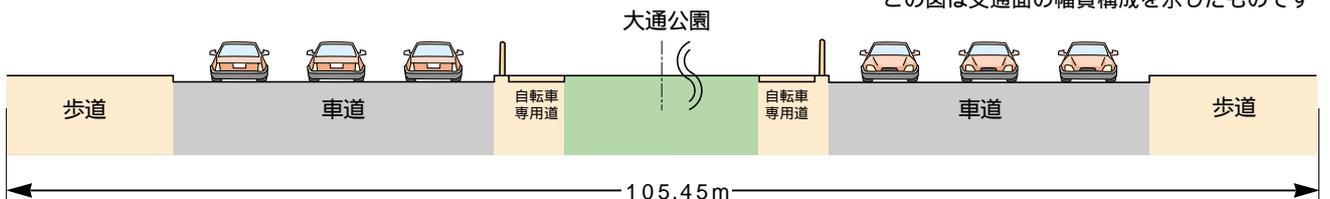
3.

## 大通

歩行空間は、公園空間と連携を図る  
 車両空間は、6車線(片側3車線)とする  
 公園側に自転車走行空間を確保する  
 冬期間のための堆雪スペースを確保する



この図は交通面の幅員構成を示したものです



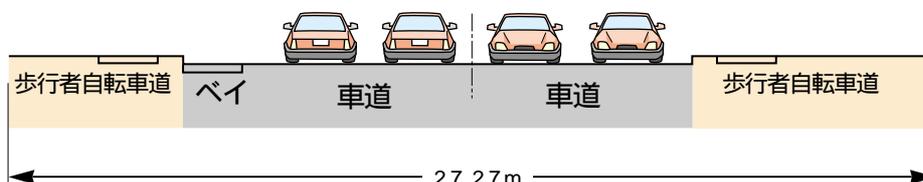
4.

## 北3条通

歩行空間は広幅員を活用した充実を図る  
 車両空間は、4車線(片側2車線)とし、停車スペース(タクシーベイ、荷さばきベイなど)を設置する  
 歩行者と自転車利用は分離する  
 冬期間のための堆雪スペースを確保する



この図は交通面の幅員構成を示したものです



# これまでの市

都心交通計画の策定にあたっては、市民1000人ワークショップや市民団体が自主的にフォーラムを開催するなど、都心骨格4軸の可能性について様々な市民議論がありました。今後、都心交通計画を推進していく中では、交通

動向などを見極めながら、都心骨格4軸のさらなる可能性について市民とともに検討を継続していくことが大切です。



札幌駅前通は札幌のメインストリートとして、市民や観光客がさらに快適に歩ける空間があるといいわね。



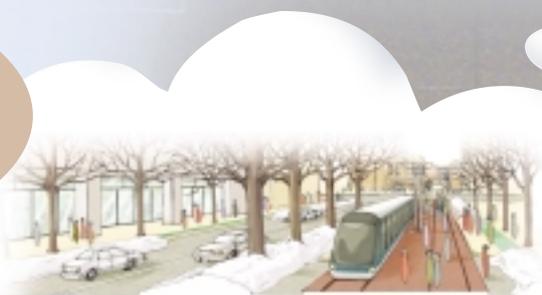
公共交通が走っているけど、こんな駅前通もステキね。



創成川通は当面、幹線道路としての役割が求められるけど、都心のやすらぎの軸として川や緑地を生かしていければいいわね。



将来的には、親水緑地空間の拡充や大通公園との連続化もあるかもね。



札幌駅前通(冬)のイメージ



創成川通(春)のイメージ

# 民議論から

大通は大通公園を生かして、人と環境を重視した札幌のシンボル空間となることが期待されるわ。



歩道の拡幅や公園が連続化できたら、とてもステキね。



大通(夏)のイメージ

北3条通は、道庁赤レンガやイチョウ並木があったり、歴史あるシンボル空間よね。



北3条通(秋)のイメージ

人と環境を重視した都心と創成川以東を結ぶ軸として、モール化や公共交通の導入もあったらいいな。



市民1000人ワークショップでは、こうした人と環境を重視した交通政策への転換に賛成された方は、「強力に推進すべき」「経済活動に支障が生じない方法を選択すべき」を合わせて9割を超えています。

しかし、今後、道路空間の再配分を可能にしていくためには、都心部における自動車交通の総量を低減させるとともに、現状の交通問題を解決していくことが不可欠です。

